

第4回 菱野団地再生計画策定検討委員会

議事要旨

日時：令和4年2月22日（火）10時00分～12時00分

場所：オンライン開催（全員協議会室）

1. 開会

- あいさつ
- 委員紹介
- 資料確認

2. 令和3年度の活動状況等（資料1）

○事務局からの資料説明

- ・資料1を用いて、令和3年度活動状況及び「未来の菱野団地をみんなで作る会（みんなの会）」の令和4年度予定について説明した。

○質問・意見交換等

委員・「みんなの駄菓子屋」には多くの人が訪れ、子供からお年寄りまでが交流できる空間になったと感じている。

委員・「みんなの駄菓子屋」を訪れた子ども達からのお礼などが、励みになっている。

委員・キッチンカーイベントを開催したことによる集客の効果もあり、「みんなのだべりば」への相談者数も増えたように思う。

コメントの追加 [SA1]: 水野（和）委員

コメントの追加 [SA2]: 水野（養）委員

コメントの追加 [SA3]: 大秋委員

3. 再生計画のプロジェクト進捗状況・予定（資料2）

○事務局からの資料説明

- ・資料2を用いて、再生に向けた先行プロジェクトの取り組み状況及び、再生に向けた中・長期計画の取り組み予定について説明した。

○質問・意見交換等

委員・菱野団地に住まわれている外国人の方への配慮について、「かわら版」にルビが振ってあるのは丁寧で良いと思う。

- ・菱野団地のホームページにおいて外国語への翻訳機能を利用するときに、菱野団地に多く住まわれている外国人の方の母国語（ポルトガル語、スペイン語等）が選択肢の上位に表示されない点を改善した方が良いと思う。

コメントの追加 [SA4]: 浦田委員

資料2説明時の発言だったと思いますが、誤りがありましたらご指摘ください

委員・活動拠点の通りにて、現在外国人との共生のために活動している所がある。

4. 再生計画の目標達成状況（資料3）

○事務局からの資料説明

- ・資料3を用いて、菱野団地再生計画に位置づけた成果指標・目標値の達成状況について説明した。

○質問・意見交換等

委員・菱野団地のホームページのアクセス件数について、一般的に多いのか少ないのか、分かれば教えていただきたい。

委員⇒市のHPは、市全体の人口から見ると少ないので、集計方法の見直しを含め、検討する必要がある。一方、菱野団地のHPについては、団地の人口から考えると非常に多い閲覧数のため、どんな部分に関心があるかの分析を行うと良いと思う。

コメントの追加 [SA5]: 水野（和）委員

コメントの追加 [SA6]: 事務局の回答です。

5. 「南山大学石川ゼミの取り組みと菱野団地の課題」（資料4）

○石川委員長からの資料説明

- ・町丁目別の人口変化を分析した結果、2012年～2021年までの間に戸建て住宅を中心とする地区の人口は概ね横ばいで推移しているが、県営住宅を中心とする地区の人口は減少傾向であることが確認された。
- ・菱野団地において学生によるフィールドワーク後を行った際の第一印象は、県営住宅の劣化・老朽化による悪いイメージ（安全ではないイメージ）であった。若い世代から見たイメージの改善が課題である。

○質問・意見交換等

委員・県営住宅について、階段を下りる事が怖いという意見があるため、EVが必要だと思う。

委員・NPO法人まごころでは現在、住宅確保用配慮者に向けた居住支援事業が行っている。

- ・県営住宅の階段の上り下りが怖いといったお悩みの相談も可能

コメントの追加 [SA7]: 大秋委員

6. 「名城大学鈴木研究室研究成果報告

「シミュレーション結果から見える菱野団地のヒント」（資料5）

委員からの資料説明

- ・世帯マイクロシミュレーションモデル（HUMS）を用いて団地の再生施策シナリオを複数設定し、シナリオ間の比較をした。
- ・現状まま施策なしで推移すると、人口減少と高齢化率上昇が継続するというシミュレーション結果になった。
- ・施策の効果比較より、通勤アクセスを改善する施策が人口および商業施設数の減少抑制に最も効果があるというシミュレーション結果になった。
- ・商業施設の誘導施策だけでは、商業施設の立地が長続きせず、団地再生に有効な施策とは言えない。
- ・負のスパイラルから脱却するためには、施設誘導施策だけでなく、交通・住宅施策等を複合的に実施することで、世帯立地と商業立地の双方によりよい効果をもたらすことができる。

○質問・意見交換等

会長・菱野団地の実際の転入者数が推定値より少ないのは、様々なことが複合的に関係していると思われるが、要因の一つに団地のイメージが良くないことも関係しているのではないかと。

7. 菱野団地における公立学校の適正規模・適正配置について（資料6）

○事務局からの資料説明

・資料6を用いて、菱野団地における公立学校の適正規模・適正配置（案）について説明した。

○質問・意見交換等

委員・引越した後に子供の学区が変わってしまうことを知り、何とかならないかといった問い合わせが多くある。

委員・地域の包括支援を進めていく中で、統合後の小学校を壊すだけでなく、社会福祉施設を含んだ新しい施設を造る事も必要。

会長・小学校統合には、将来的な人口の増減も含め、長期的な計画が必要となる。

・50年先の状況も考慮しながら、計画を考える必要がある。

コメントの追加 [SA8]: 女性の委員が発言されたように記憶しています

8. その他

○今後の予定

・第5回協議会は、令和4年度末に開催する予定である。

以上